



## Press Release

2010年9月17日

PREMG10-41

### アジレント・テクノロジーが、60 Gbaudまでの高度変調信号の解析向けに 光変調アナライザの機能を拡張

アジレント・テクノロジー株式会社（社長：梅島 正明、本社：東京都八王子市高倉町 9 番 1 号）は、振幅変調および位相変調光信号の詳細な解析向けに、時間ドメインの光変調アナライザ「Agilent N4391A 光変調アナライザ」の機能を拡張し、60 Gbaud（ギガ・ボー）までの高度変調信号の解析に対応したことを発表します。このシステムは、偏波多重にも対応したコヒーレント光レシーバ、「Agilent 89600 ベクトル信号解析ソフトウェア (VSA)」のほか、32 GHz アナログ帯域を有するリアルタイム・オシロスコープ「Agilent Infiniium（インフィニウム） 90000 X シリーズ オシロスコープ」を 2 台組み合わせることで実現しています。

インターネットの普及にともない、インターネット上を流れるデータ量も増えつつあります。そのため、現在は 10 Gb/s（ギガビット／秒）が一般的なデータ伝送レートは、数年のうちに 100 Gb/s にまで高まることが見込まれています。100 Gb/s の光ネットワークの実現に向け、DP-QPSK（偏波多重 QPSK）などの高度な変調方式を用いたデバイスやシステムの研究開発が行われています。当社では、40Gb/s や 100 Gb/s に向けた最先端の研究開発に貢献する測定システムとして、コヒーレント光レシーバ、変調解析ソフトウェア、オシロスコープを組み合わせた「Agilent N4391A 光変調アナライザ」を提供しています。

100 Gb/s の通信の場合、FEC（前方誤り訂正）による冗長データのため 128 Gb/s の伝送レートが必要になる場合があります。この変調解析には、少なくとも 20 GHz 帯域の 4 チャンネルのオシロスコープが必要となります。そこで当社では、4 月に発表した最大 32 GHz 帯域のリアルタイム・オシロスコープ「Agilent Infiniium 90000 X シリーズ オシロスコープ」を 2 台組み合わせることでこれを実現しました。この構成では、最大 60G Baud までのシンボルレートの信号を、偏波多重を考慮しながら解析することができます。

また、今後、市場が立ち上がると見られる高度変調信号を用いた光デバイスの製造部門では、製造試験に必要な機能に特化した安価な測定システムが求められます。そこで、内部の局部発振光源の波長範囲や解析機能を制限した低価格版も提供を開始します。

#### **販売方針**

\* **目標市場**：100G b/s 超の光ネットワーク向けデバイス、システムの研究開発部門、および高度変調信号を用いたデバイスの製造部門向け

\* **販売価格（発表日時点での税抜き参考価格です）**：

研究開発向け

既存のオシロスコープを活用する場合 約 2,400 万円から

オシロスコープも含めて新規購入の場合 約 7,000 万円から

製造向けの低価格版(オシロスコープを除く) 約 1,550 万円から

\* **販売開始日**：2010 年 9 月 17 日

\* **出荷開始予定時期**：2010 年 11 月

「Agilent N4391A 光変調アナライザ」についての詳細は、以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.agilent.co.jp/find/oma>

[http://www.agilent.com/find/oma\\_images](http://www.agilent.com/find/oma_images)（製品写真）

[http://www.agilent.com/find/oma\\_video](http://www.agilent.com/find/oma_video)（ビデオ）

# # #

**お客様からのお問い合わせ先（記事掲載時の連絡先もこれでお願ひします）：**

計測お客様窓口

電話：0120-421-345

**この発表に関する報道関係者各位からのお問い合わせ先：**

広報担当 関

電話：042-660-8426

## アジレント・テクノロジーについて

アジレント・テクノロジー (NYSE:A) は、化学分析、ライフサイエンス、エレクトロニクス、コミュニケーション市場における世界のプレミア・メジャメント・カンパニーであり、またテクノロジー・リーダーでもあります。18,500名の従業員を擁し、100カ国以上でビジネスを展開しています。アジレントは、2009年度、45億ドルの売上高を達成しました。アジレント・テクノロジーの情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.agilent.co.jp>

※このプレスリリース中の「アジレント・テクノロジー」、「アジレント」、「当社」は、文脈により、「アジレント・テクノロジーズ・インク」、その日本人や各国の法人、グループ全体を指すことがあります。